

社会福祉学科の教育

教育目的	
その人らしい生活を支えるために必要な福祉・心理に関する専門的知識および技術を身につけ、人や地域社会とあたたかい関わりをもち、人権を擁護することのできる人間性豊かな福祉人材の育成を図ることを目的とする。	

学修教育目標	
A 知識・理解力	知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。
B 専門的技術	社会貢献・自己実現に技術が活用できる。
C 論理的思考力	情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。
D 問題解決力	問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。
E 自己管理力	自らを律して行動できる。
F チームワーク・リーダーシップ	他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
G 倫理観	自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。
H コミュニケーション力	言語や身体を用いて自己・他者の理解を深めるコミュニケーションができる。

学科学修教育目標	
A①社会福祉学の基礎的な理解	社会福祉に関する基礎的な知識、技術について理解している。
②ソーシャルワークや介護及び隣接領域等の理解	ソーシャルワークや介護の理解や精神保健・心理等の知識を身につけている。
B①面接技術や生活支援技術、カウンセリング等の能力	対人援助や生活支援に必要な知識・技術について理解している。
②生活ニーズをアセスメントできる力	利用者の立場にたって物事を判断し、理解していく力を身につけている。
③総合的な支援を計画的に実践できる力	論理的な根拠をもって援助を計画的に実践していく力を身につけている。
C 行動を科学的に理解する力	人間の行動や心理について科学的、客観的に理解できる。
D 問題解決力	問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。
E G自己覚知の実践	価値感や倫理観と向き合いながら自らを律し、利用者を理解していくことができる。
F チームワーク・リーダーシップ	他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
H①言語、非言語によるコミュニケーション技術	利用者に合った方法でコミュニケーションを実践できる力を身につける。
②プレゼンテーションを行う力	情報を的確に伝える力や解りやすく説明できる能力を身につける。
③記録や記述を行う力	感じたことや考察したことなどを的確に記録したり、記述することができる。

自己形成を進める行動目標10項目(社会福祉学科 福短マトリックス)	
1 「私」の経験をもとに考える	
2 状況や関係を把握して考える	
3 もう一人の「私」を立ち上げ考える	
4 「私」宣言をつくる	
5 自己・他者を理解しコミュニケーションする	
6 福祉に関わり知識・技術を習得する	
7 他者に向けて発信する	
8 「ひと・こと・もの」に働きかける「私」になる	
9 福祉に関わる専門性を發揮する	
10 福祉社会に生きる「私」になる	

※「学修教育目標(A~H)」と「自己形成を進める行動目標(1~10)」を組み合わせて各授業科目の到達目標を設定する。

■ 社会福祉学科（2023年度 入学生）

卷一百一

一并提出するので参考まで御覧ください。Cortexとの相性と公算は(特に C45)以上の実績が必須です。

故其子曰：「吾父之子，其名何也？」

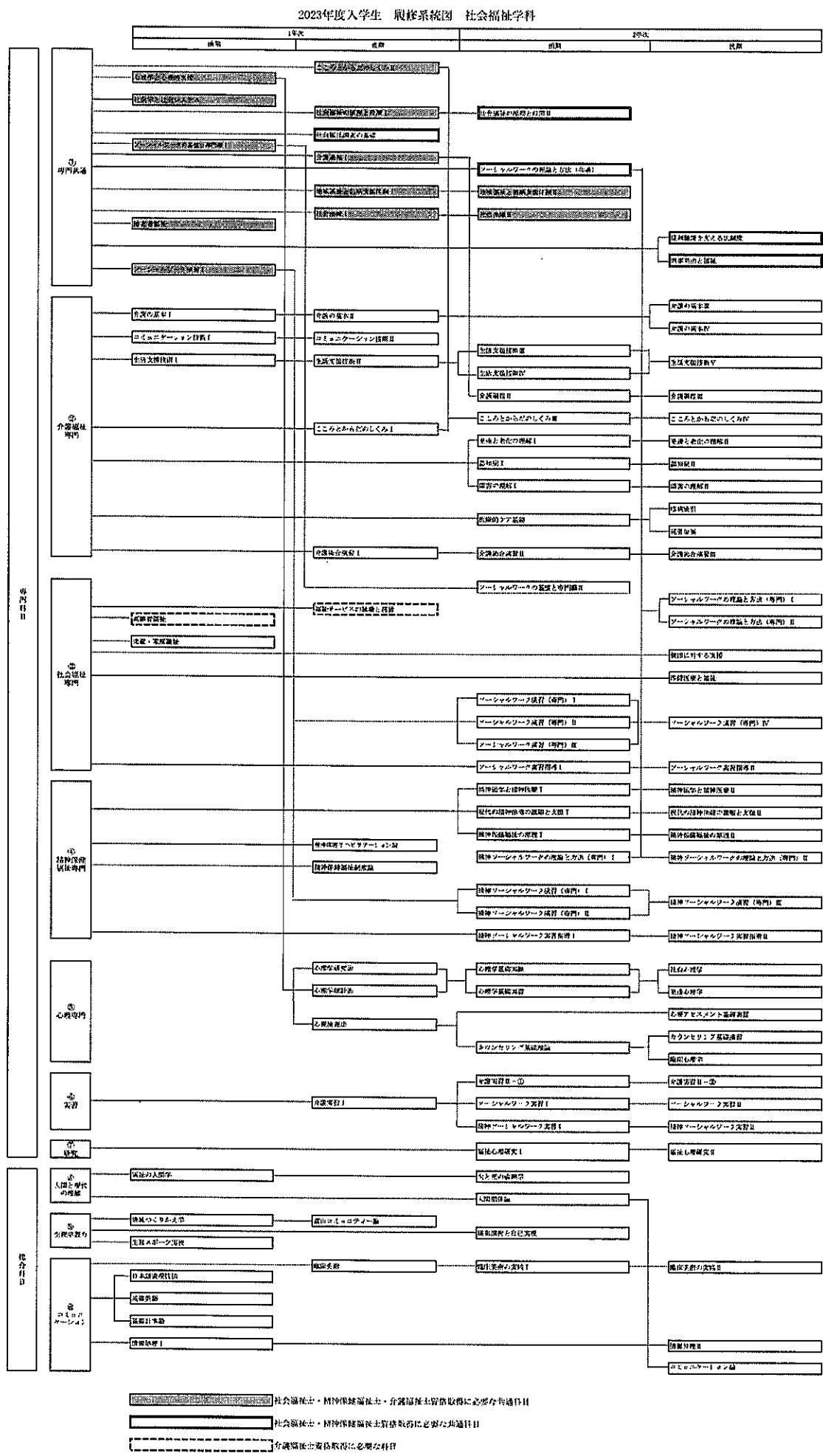
卷之三

（参考）
（参考）

ここにとどまつたくつも、はなはなめの士。結かず御用仕士を抱むひ日の「御用抱き」に遊行神事行持となります。

「余はおおむね、社会派論者として、精神分析説、精神統合説の二つの立場をとる。」

卷一百一十一



看護学科の教育

教育目的

看護師として正確な専門知識と安全な技術を身につけ、本人と家族を含めた看護の対象やその対象を支える保健・医療・福祉従事者および地域の人々への理解を深め、信頼関係を形成し、安心感を与えることのできる態度と幅広い教養を身につけ、常に自己を向上させる意欲を備えた看護実践者の育成を図ることを目的とする。

学修教育目標

A 知識・理解力	知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。
B 専門的技術	社会貢献・自己実現に技術が活用できる。
C 論理的思考力	情報や知識を複眼的・論理的に分析し、表現できる。
D 問題解決力	問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。
E 自己管理力	自らを律して行動できる。
F チームワーク・リーダーシップ	他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
G 倫理観	自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。
H コミュニケーション力	言語や身体を用いて自己・他者の理解を深めるコミュニケーションができる。

学修教育目標

A①看護の本質・目的の理解	看護に活用される理論の基礎的知識を身につけ、未来で活躍する看護職としてのビジョンを持つ。
②看護の対象の理解	看護の対象であるあらゆる人々と家族の健康と生活についての理解を深める。
③看護の対象を支える保健・医療・福祉従事者および地域の人々への理解	対象を支える保健・医療・福祉従事者および地域の人々への理解を深める。
④看護の内容・方法の理解	看護実践に必要な内容・方法に関する知識・理解を深める。
B 看護に必要な基本技術の習得	あらゆる場において看護を実践するための応用可能な基本的技術を習得する。
C 看護実践のための論理的思考	さまざまな知識・技術を統合し活用するために論理的に考える姿勢を持つ。
D 看護実践における問題解決	知識を活用し、看護過程の展開ができる。
E 学修継続のための自己管理	学修継続のために心身の健康と行動を自らまたは適切な支援を得て管理できる。
F チームワーク・リーダーシップ	学修目標達成のために、自己の役割を理解し、グループでの学修、実習を遂行できる。
G 看護師としての倫理観	看護の対象である人々を護り、その人々の代弁者となる意識を持つ。
H コミュニケーション力	他者に対して聞くこと、伝えることを確実にできる。

自己形成を進める行動目標10項目(看護学科福短マトリックス)

- 1 「私」の経験をもとに考える
- 2 状況や関係を把握して考える
- 3 もう一人の「私」を立ち上げ考える
- 4 「私」宣言をつくる
- 5 自己・他者を理解しコミュニケーションする
- 6 看護に関わる知識・技術を習得する
- 7 他者に向けて発信する
- 8 「ひと・こと・もの」に働きかける「私」になる
- 9 看護に関わる専門性を發揮する
- 10 地域社会に看護師として生きる「私」になる

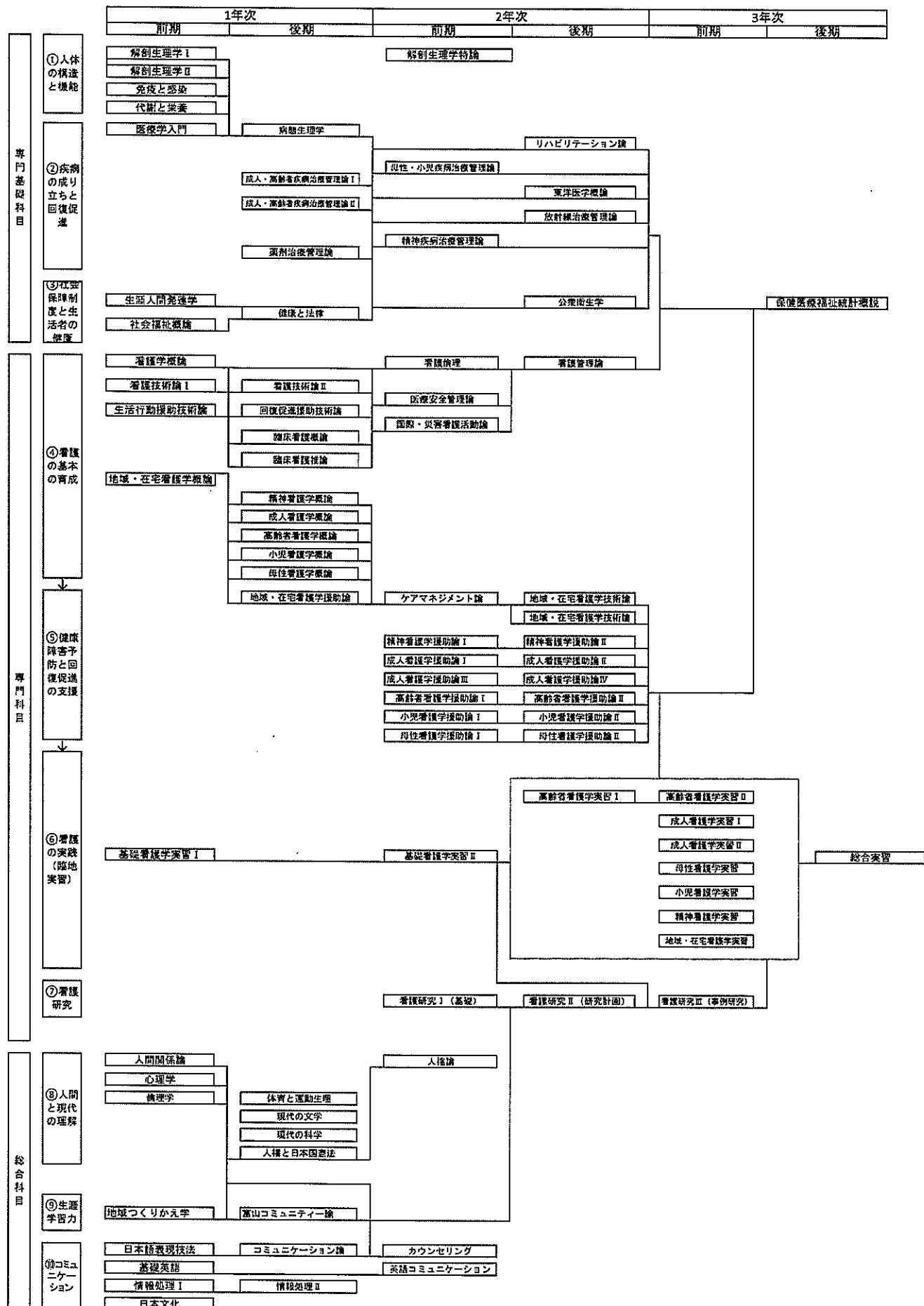
※「学修教育目標(A~H)」と「自己形成を進める行動目標(1~10)」を組み合わせて各授業科目の到達目標を設定する。

醫學編

看護学科（2023年度入学生）

（注）①前述は、名古屋市における「へき野」日における平成法規日がすべて整備されていることを示す。〔現行法規日:平成19年6月1日以前の法律が適用される場合〕
②本学在籍学生の卒業条件を満たすことを、在籍期間最終日の翌日までとする。
（注）①前述は、名古屋市における「へき野」日における平成法規日がすべて整備されていることを示す。〔現行法規日:平成19年6月1日以前の法律が適用される場合〕
②本学在籍学生の卒業条件を満たすことを、在籍期間最終日の翌日までとする。

2023年度入学生 履修系統図 看護学科



*上記の科目以外に、所定の手続きを経て、大学コンソーシアム富山等で開講する単位互換科目等を履修することができる。

幼児教育学科の教育

教育目的

子どもの保育・教育に関する専門知識、技術を修得し、音楽や図工、体育などを通して、子どもの感性を育む表現力を身につけ、さらに保護者や同じ職場の仲間から信頼される幅広い教養と使命感をもって、子どもたちの幸せをサポートできる人間愛に満ちた保育者、教育者の育成を図ることを目的とする。

学修教育目標

A 知識・理解力	知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。
B 専門的技術	社会貢献・自己実現に技術が活用できる。
C 論理的思考力	情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。
D 問題解決力	問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。
E 自己管理力	自らを律して行動できる。
F チームワーク・リーダーシップ	他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
G 倫理観	自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。
H コミュニケーション力	言語や身体を用いて自己・他者の理解を深めるコミュニケーションができる。

学科学修教育目標

A①保育・教育の本質・目的の理解	福祉や保育・教育の基礎的な知識を身につけるとともに、保育者として必要な役割について理解できる。
②保育・教育の対象の理解	子どもの心身の発達および健康管理についての知識を身につける。
③保育・教育の内容・方法の理解	乳児や障がい児も含め、様々な対象の子どもに対する保育・教育の内容・方法や計画に関する知識を身につける。
B 保育・教育に必要な基礎技術	音楽、造形、体育などの活動を通して子どもの感性を育むことができるよう、それらの基本的な技術を身につける。
C 記録の技術と子どもの理解	授業のレポートや実習報告書などを作成し、子どもの育ちの理解を深め、表現できる。
D 指導計画を立案する力	子どもの生活に即した保育・教育の計画を立案・実施し、自己評価ができる。
E 自己管理力	自らを律して行動できる。
F 保育者のチームワーク	他者と信頼関係を築き、目標実現のため協力し共に育ちあうことができる。
G 保育者の倫理観	保育者の社会的責任を理解し、子どもの最善の利益に配慮できる。
H 保育者として必要なコミュニケーション力	子どもと信頼関係を築くことができる。また、保護者とコミュニケーションをとることにより家庭や地域社会を理解できる。

自己形成を進める行動目標10項目(幼児教育学科福短マトリックス)

- 1 「私」の経験をもとに考える
- 2 状況や関係を把握して考える
- 3 もう一人の「私」を立ち上げ考える
- 4 「私」宣言をつくる
- 5 自己・他者を理解しコミュニケーションする
- 6 保育・教育に関わり知識・技術を習得する
- 7 他者に向けて発信する
- 8 「ひと・こと・もの」に働きかける「私」になる
- 9 保育・教育に関わる専門性を發揮する
- 10 子どもの幸せをサポートする「私」になる

※「学修教育目標(A~H)」と「自己形成を進める行動目標(1~10)」を組み合わせて各授業科目の到達目標を設定する。

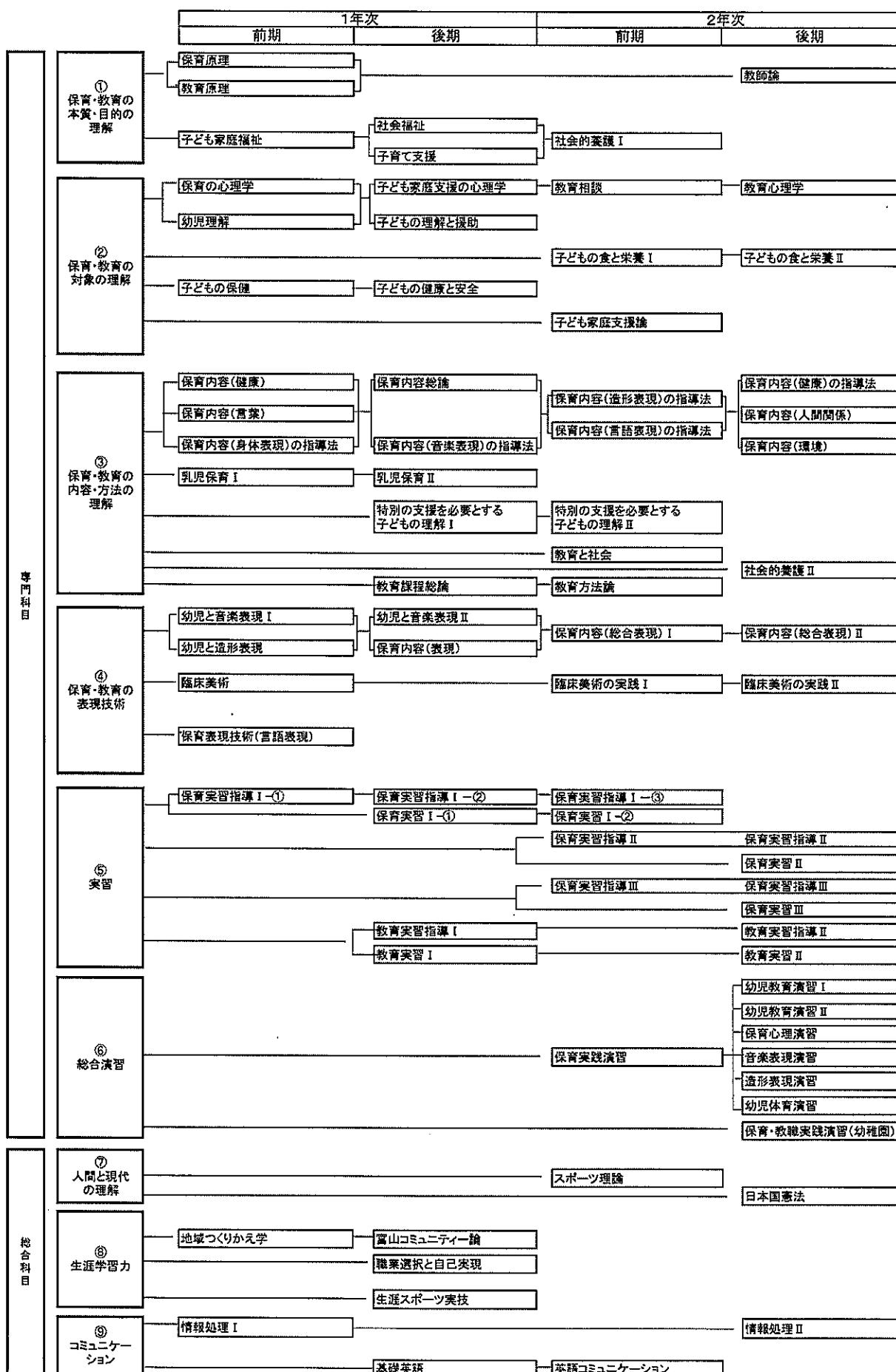
履修科目一覧

■ 幼児教育学科 (2023年度 入学生)

区分	科目区分	コード	開講科目名	1年次				2年次			
				前期		後期		前期		後期	
必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択
① 保育・教育の 本質・目的の理解	240150 保育原理 240109 教育原理	◎ ● ● ●	2 選択 2 選択	240161 社会福祉 240217 子育て支援	コード ● ● ● ●	開講科目名 社会福祉 子育て支援	コード ● ● ● ●	開講科目名 社会福祉 子育て支援	コード ● ● ● ●	開講科目名 社会福祉 子育て支援	コード ● ● ● ●
② 保育・教育の 効果・効率の理解	240219 保育の心理学 240220 子ども心理学 240225 幼児心理学	◎ ● ● ●	2 選択 2 選択 2 選択	240220 子どもの理解と指導 240221 子どもの保健と安全	● ● ● ●	1 演習 1 演習	● ● ● ●	1 演習 1 演習	● ● ● ●	1 演習 1 演習	● ● ● ●
③ 保育・教育の 内容・方法の理解	240247 保育内容(健康) 240249 保育内容(健栄) 240228 保育内容(身体表現) 240242 乳児保育Ⅰ	★ ● ● ●	2 演習 2 演習 1 演習 2 選択	240171 教育理論統論 240120 保育内容統論 240245 保育内容(表現) 240230 保育内容(身体表現)の指導法 240193 乳児保育Ⅱ 240232 物的表現をもとに子どもの理解Ⅰ	● ● ● ●	1 演習 1 演習 1 演習 1 演習 1 演習 1 演習	● ● ● ●	2 選択 2 選択 1 演習 2 選択 1 演習 1 演習	● ● ● ●	1 演習 1 演習 1 演習 1 演習 1 演習 1 演習	● ● ● ●
④ 保育・教育の 表現技術	240235 幼児身体表現Ⅰ 240246 幼児身体表現Ⅱ 240179 保育実践 240180 保育実践(身体表現)	◎ ○ ○ ○	1 演習 1 演習 1 演習 1 演習	240236 幼児と音楽表現Ⅰ 240145 保育実習Ⅰ-①	○ ○ ○ ○	1 演習 1 演習 1 演習 1 演習	○ ○ ○ ○	1 演習 1 演習 1 演習 1 演習	○ ○ ○ ○	1 演習 1 演習 1 演習 1 演習	● ● ● ●
⑤ 実習	240211 保育実習指導Ⅰ-① 240212 保育実習指導Ⅰ-② 240145 保育実習Ⅰ-① 240214 保育実習指導Ⅰ 240150 保育実習Ⅰ	● ● ○ ○	1 演習 1 演習 2 実習 1 演習 1 演習	240213 保育実習指導Ⅰ-③ 240146 保育実習Ⅰ-② 240102 保育実習指導Ⅰ 240183 保育実習指導Ⅱ 240164 保育実習指導Ⅰ	● ● ○ ○	1 演習 2 実習 1 演習 1 演習 1 演習	● ● ○ ○	1 演習 2 実習 1 演習 1 演習 1 演習	● ● ○ ○	1 演習 1 演習 1 演習 1 演習 1 演習	● ● ○ ○
専門科目	⑤ 実習										
総合科目	人間と現代の理解 生涯学習力 コミュニケーション 総合科目										
⑥ 生涯学習力	240203 地球くらしか文学 240002 保育実習と自己実現 240011 生活入門→実技 240007 素晴コミュニーション	◎ ● ● ●	1 選択 1 選択 1 実技 1 選択	240010 スポーツ理論 240009 日本国憲法 240239 幼児教育実習Ⅰ 240196 保育心理実習 240187 保育表現実習 240250 保育表現実習 240210 幼児体育実習Ⅰ 240153 保育・教育実習(幼稚園)	◎ ● ● ●	2 選択 2 選択 1 実技 1 選択	◎ ● ● ●	2 選択 2 選択 2 実習 2 実習 2 実習 2 実習	△ ● 2 選択 △ ● 2 選択 2 選択 2 選択 2 選択 2 選択	△ ● 2 選択 △ ● 2 選択 2 選択 2 選択 2 選択 2 選択	62
⑦ コミュニケーション	240013 情報整理Ⅰ	△ ●	1 演習	240014 情報整理Ⅱ	△ ●	1 演習	240014 情報整理Ⅱ	△ ●	1 演習	△ ● 1 演習	8
総合科目											70

①授業には、◎印の全科目(30単位)を含め、■印の科目より9単位以上、▲印の科目より3単位以上を加えて、計10単位以上の単位認定が必要です。
◎保育実習Ⅱ(2単位)または保育実習Ⅲ(2単位)および保育実習指導Ⅰ(1単位)または保育実習指導Ⅱ(1単位)を含むこと。
ただし、保育実習Ⅱ(2単位)の取得には、「幼児教育実習Ⅱ(2単位)または保育実習指導Ⅰ(1単位)」を必要です。

2023年度入学生 履修系統図 幼児教育学科



*上記の科目以外に、所定の手続きを経て、大学コンソーシアム富山等で開講する単位互換科目等を履修することができます。

国際観光学科の教育

教育目的

福祉の精神を基盤として、人権を尊重する高い倫理観を有し、人々の幸せのために、観光実務や観光サービスの分野で人を支援するための知識と基本的技術、語学力を活用し、地域の人々や関連職種と連携してインバウンドに対応し、地域創生に寄与できる人材を育成することを目的とする。

学修教育目標

A 知識・理解力	知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。
B 専門的技術	社会貢献・自己実現に技術が活用できる。
C 論理的思考力	情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。
D 問題解決力	問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。
E 自己管理力	自らを律して行動できる。
F チームワーク・リーダーシップ	他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
G 倫理観	自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。
H コミュニケーション力	言語や身体を用いて自己・他者の理解を深めるコミュニケーションができる。

学科学修教育目標

A ①国際観光の基礎的な理解	国際観光に関する基礎的な知識、技術について理解している。
②歴史や文化の理解	国内外の歴史や文化を理解し、観光実務や観光サービスの分野で活用できる。
B 国際観光の専門職としての実践力	インバウンド顧客の感動実現のため、地域に貢献できる体験型観光商品や滞在型観光サービスの企画、開発を行う。
C 論理的能力	高いマーケティング力、イノベーション力を用いた事業性、継続性の高い実践ができる。
D 問題の分析や提言	地域のニーズに合わせて問題の分析や、提言、解決を図る。
E 地域の課題を自ら発見	広い視野で地域創生の課題を自ら発見し、自身の考えで解決に向けてやり遂げる。
F 関連職種との連携	専門職としての高い知識を活用、提言をしながら、効果的な関連職種と連携し、主体的に問題解決をする。
G 高い倫理観	人権を尊重し、公正平等な高い倫理観を持つ。
H ①地域社会と関わる	地域創生のための問題解決に向けて、地域社会と温かい関わりをもつ。
②高度な英語力	様々な実践現場においてより高度な英語を用いたコミュニケーションを図る。

自己形成を進める行動目標10項目(国際観光学科履修マトリックス)

- 1 「私」の経験をもとに考える
- 2 状況や関係を把握して考える
- 3 もう一人の「私」を立ち上げ考える
- 4 「私」宣言をつくる
- 5 自己・他者を理解しコミュニケーションする
- 6 観光に関わり知識・技術を習得する
- 7 他者に向けて発信する
- 8 「ひと・こと・もの」に働きかける「私」になる
- 9 観光に関わる専門性を發揮する
- 10 観光で地域社会に資する「私」になる

※「学修教育目標(A~H)」と「自己形成を進める行動目標(1~10)」を組み合わせて各授業科目の到達目標を設定する。

■国際観光学科（2023年度 入学生）

区分	コード	履修科目名	前期		後期		前期		後期		単葉要件 必須単 位数	単葉形態 選択必 要単 位数	単葉形態 選択必 要単 位数		
			選 択 必 要 単 位 数	選 択 必 要 単 位 数	必 要 単 位 数	選 択 必 要 単 位 数	必 要 単 位 数	選 択 必 要 単 位 数	必 要 単 位 数	選 択 必 要 単 位 数					
専門基礎科目	250103	観光概論	必	2	講義	250115	地域観光資源	必	2	講義	必	2	講義		
	250105	インバウンド概論	必	2	講義	250116	地域観光政策論	必	2	講義	必	2	講義		
	250124	観光運営論	必	2	講義	250125	共生社会論	必	2	講義	選	2	講義		
	250104	観光マーケティング論	必	2	講義	250117	始終観光産業論	選	2	講義	250121	データマネジメント論	選	2	講義
③ マーケティング力に関する知識	250106	旅行事業経営論	必	2	講義	250118	商品企画論	必	2	講義	データマーケティング論	選	2	講義	
						250120	ノベルティ・人材育成論	選	2	講義	250112	取扱論	選	2	講義
											250126	Regional Value Creation	選	2	講義
④ 観光実務に関する知識	250201	ニューヨーク・ハーバード論	必	2	講義	250219	地域開発事例研究(AT)	必	2	講義	250221	地域開発実務演習(AT)	必	2	実習
	250223	カードシステム論	選	2	演習	250220	地域開発事例研究(FT)	必	2	講義	250222	地域開発実務演習(FT)	必	2	実習
						250224	ICT & Information Literacy	必	2	講義	250225	ガイドシングル論	選	2	講義
専門科目	⑤	観光学研究									250226	Digital Transformation (DX) in Tourism	必	2	講義
	⑥ 英語					250227	観光学研究 I	必	1	演習	250228	観光学研究 II	選	1	演習
⑦ 人間と現代の理解											250229	観光実践論(インターネット含む)	必	1	演習
											250320	観光実践論(インターネット含む)/海外留学	必	8	実習
											250231	観光実践論(インターネット含む)/英語指導	必	1	演習
総合科目											250322	観光実践論(インターネット含む)/実習指導	必	1	演習
	250032	批判次世代オーラ	必	1	演習	250028	Sustainable Tourism and SDGs	選	2	講義	250031	国際貢献論	選	2	講義
	250033	アカデミックライティング	必	1	演習	250029	Global Citizenship & Intercultural Competence	選	2	講義					
⑧ 生涯学習	250009	地域づくりから学ぶ	必	1	講義	250030	ユニバーサルデザイン特論	選	1	講義					
	250034	生涯スポーツ実技	選	1	演習										
⑨ コミュニケーション	250021	日本語表現論法	選	1	演習	250040	TOEIC Intermediate Communication for Enhancing Customer Service	必	2	講義	250043	English for Tourism & Hospitality Professionals	必	2	講義
	250036	プレゼンテーション演習(日本)	必	2	演習	250041	Customer Service	必	2	講義					
	250037	Foundation English Skills	必	1	演習	250042	ホスピタリティコミュニケーション	選	1	演習					
総合計	250038	TOEIC Productive Skills	必	2	講義										
	250039	TOEIC Receptive Skills	必	2	講義										

(注意) 卒業には、選択必修科目の「地域開発実例研究(アドベントチャーチス校)」と「地域開発実務演習(食のアーツ校)」の両科目を取得すること。

2023年度入学生 履修系統図 国際観光学科

